



林 声

2020

1

月号



新見市南部の森林は、地域住民の生活に密着した里山が多い中、今も育林作業が行われている人工林などが部分的に存しています。この地域で、新見市新林業経営者クラブの赤木絃一（あかぎ こういち）さんは、優良材の生産を目標に、ヒノキの植栽から、間伐・枝打ち等の作業を全て自分で行われています。赤木さんが仕上げた山は、林床に植栽されたシキミ、サカキ等に木漏れ日が差し込み、枝打ち後の枝は積み重ねて整理され、きれいな林内となっています。（詳細はP3に記載）

目 次

新年のごあいさつ（岡山県林業改良普及協会会長）…	2	森林研究所研究成果発表会の開催 ……………	9
大切に育まれてきたおかやまの森・人の技が光る森 （新見市足見の森林） ……………	3	技能講習等情報 ……………	10
森林経営管理制度における市町村等への 支援状況 ……………	4	林産物市況 ……………	11
普及指導区の情報（勝英普及指導区） ……………	5	森林・林業施設の紹介（高梁市立成羽こども園）…	14
ニューフェイスです！			
（びほく森林組合 石原 大地さん） ……………	6		
林業労働安全対策 ……………	7		
岡山県みどりの大会2019の開催／ 林業普及指導員全国シンポジウムに参加 ……………	8		

【ほっけ～木になる情報】

Q. 猛烈な豪雨による植栽地の被災が心配されますが、備えられることはありますか？



新年の挨拶



岡山県林業
改良普及協会
会長
井手 紘一郎

新年あけましておめでとうござ
います。

会員の皆様には、輝かしい新春
をお迎えのこととお慶び申し上げ
ます。

また、平素から当会の運営につ
きましては、皆様の格別のご支援、
ご協力を賜り、厚くお礼申し上げ
ます。

さて、昨今の森林・林業を巡る
情勢は、戦後造成された人工林が
本格的な利用期を迎え、豊富な森
林資源の循環利用に向けて、新た
な木材需要の創出や安定的・効
率的な国産材の供給体制の構築
等により、林業の成長産業化の実
現と森林資源の適切な管理を両立
させることが喫緊の課題となってい

ます。

このような中、昨年4月に森林
経営管理法が施行され、手つかず
となっている人工林を市町村が集
積し、経営又は管理することがで
きる「森林経営管理制度」が動き
出しています。

県においては、この新たな森林
経営管理制度の推進に向けて、市
町村との連携推進会議の開催や、
市町村・林業経営体向けの研修の
実施、森林クラウド整備など市町
村等への総合的な支援が実施され
ているところです。

また、県では、森林・林業のあ
るべき姿や施策の基本方針等を盛
り込んだ「21おかやま森林・林業
ビジョン」改訂作業が進められて
おり、今後の県の施策を推進して
いく指針が示される見込みです。

こうした中、国・県・市町村の
施策が円滑に実施され、実りある
成果をもたらすためには、人や地
域をつなぐネットワーキングや
情報の共有が重要であります。

当林業改良普及協会においても、

昨年には、安全な伐採技術の普及
や子どもたちに林業の魅力を伝え
ることを目的に、県下7市町に在
住する、林業の現場で活躍する若
者らで構成される林研グループ「岡
山林業未来会」が新たに発足し、
本県の林研活動が一層活発化して
いくことと期待しています。

引き続き当協会といたしまして、
森林・林業の大切さや木材の良さ
をより広く、県民の皆様によりす
るとともに、林研グループ交換研
修大会や専門部会の開催、県外研
修への派遣、あるいは「林声」の
発行による会員相互の情報共有を
通して、地域のネットワーキング
りに貢献するとともに、森林・林
業情報の周知に努め、森林・林業
が益々活気づくよう取り組む所存
であります。

最後に、会員の皆様のご支援、
ご協力をお願いいたしますととも
に、それぞれの分野で益々のご活
躍、ご発展をお祈り申し上げます、新
年のごあいさつとさせていただきます
ます。

【共販日(特別市)のご案内】

岡山県森林組合連合会



本年もお引き立ての程、宜しく願い申し上げます。
皆様方からの多くの出荷をお待ちしております。



- 【津山木材共販所】 津山木材仲買協創立52周年記念市
2 / 7 (金) 10時50分～
- 【勝山木材共販所】 2 / 19 (水) 9時30分～
- 【新見木材共販所】 2 / 21 (金) 9時30分～



大切に育ててきたおかやまの森
★人の技が光る森★

新見市足見

赤木紘一氏所有林

【新見普及指導区】



一 はじめに

新見市の南部は、カルスト台地が広がり、井倉洞や満奇洞などの鍾乳洞が名所となっています。農業では、土壌の特徴を活かして、葉たばこ栽培が盛んな地域でしたが、現在は作目の転換を図り、県内でも有数のピオーネの産地になっています。

この地域の森林は、かつてはアカマツを主体とする天然林が広がりが、松茸の産地として有名でしたが、現在は松くい虫被害跡地からの更新が進み、落葉広葉樹林が主体となっています。スギやヒノキの人工林は、点在しており、人工林率は低い地域です。

二 技が光る赤木氏の森林

今回紹介する赤木紘一さんは、建設会社の役員を長年務められ、仕事の閑散期に従業員の雇用確保として、所有山林を伐採し、ヒノキを植栽したのがきっかけで、そ

の後、コツコツと山の手入れを自身で行うようになったとのことでした。赤木さんの所有山林は面積約15ha、うち人工林面積12ha、人工林率80%です。

このうち、ヒノキ林には、

- ・ 林齢 30年生
- ・ 平均樹高 16m
- ・ 平均枝下高 8.5m
- ・ 平均胸高直径 22cm
- ・ 収量比数 0.65

と、正に柱材生産のお手本のような人工林もあります。鉋や長柄のノコギリで丁寧な枝打ちを行い、木の成長を見ながら、間伐を行っています。さらに、2tのバックホウで作業道の開設と間伐材の搬出も行い、林内路網密度は、鈔当たり260mと高密度となっています。「自分が思う山になるよう自分で出来るだけの量を間伐しています。また、光が多く入るようになった林床には、シキミ、サカキ、ヒサカキ、コウヤマキ等を植えて、将来の楽しみにしている。」と赤木さんは目を細めて語ってくれました。

また、枝打ちした枝等は、帯状に丁寧に積み重ねられており、革靴でも歩ける林内は、「整理・整頓することで、作業効率や安全対策のほか、きれいな山は、みんなが

気持ちいい。」と見た目も追求されていた。天気の良い日は、木漏れ日が差し込み、本当に気持ちの良い山に仕上げられていて、楽しみながら山づくりを実践されていることが、言葉の中に溢れていました。



林内の状況

三 林研グループ活動について

新見市新林業経営者クラブには先輩の誘いで入会し、総会や先進地視察、林業教室の支援や他の林研グループとの交流に積極的に参加されており、先日も新見市立神代小学校の林業教室において、児童にノコギリの使い方や木の伐採方法を熱心に指導されていました。

四 地域の活動について

赤木さんは、草間台エコミュージ

アム振興協議会の委員でもありません。所有林内を活用して、キノコ栽培講習会に参加した都市住民から預かっているシイタケのホダ木を伏せて管理するなど、地域活動にも精力的に取り組まれています。



林業教室

五 おわりに

普及指導員は、とかく木材の生産活動の場に目を向けることが多い中、このたびの取材で、山づくりの基本を実行する取組姿勢が大事であることを改めて認識したところです。経済性とあわせて景観にも配慮した、赤木さんの山に対する思いを、森林・林業教室などで、しっかりと次世代に伝えていくことも、必要であると思えました。

(新見普及指導区 神本 英夫)

森林経営管理制度における市町村等への支援状況について

一 はじめに

森林経営管理制度がスタートしてから9カ月が経過し、各市町村においては、当該制度の取組方針の策定や、意向調査対象森林の抽出、森林所有者情報の収集等が着々と進められているところです。

県では、この制度が円滑に推進されるよう、今年度から市町村等への総合的な支援に取り組んでおり、その実施状況を報告します。

二 支援内容及びその実施状況

(1) 連携推進会議の開催

課題解決に向けた検討や情報交換等を行う、県と市町村との連携推進会議をこれまで3回開催し、他県の先進事例の紹介や針広混交林の現地視察、各市町村からの取組状況の報告等を行いました(第4回目は2月に開催予定)。

(2) 市町村職員等研修の実施

森林・林業に関する知識・技術の習得を目的に、市町村職員や地域林政アドバイザー候補者に対する研修を4回開催しました。

① 森林・林業総論、森林経営管理制度の概要等

② 作業道作設技術及び造林・育林技術の基礎知識等

③ 保安林制度の概要、森林整備事業費の構成等

④ 森林GISの活用等



森林作業道作設技術現地研修の様子

(3) (公社) おかやまの森整備公社による支援

県では、専門的人材の紹介(人材バンク)や森林管理の技術支援等の業務を、おかやまの森整備公社に委託し、市町村の推進体制の充実に図っています。

・ 無料職業紹介事業の許可を受け、「森林経営管理制度推進人材バンク」を運営(10月1日)

・ 森林経営管理制度実務研修の開催(7月31日、12月10日)

・ 市町村からの相談対応(随時)
・ 森林管理技術支援(森林情報把握、森林管理方法等の情報提供)

相談対応、ドローン・森林3次元計測システム導入)等

(4) 森林管理データの整備等

市町村と情報を共有している森林クラウドの機能に、航空レーザ計測データを活用した路網データや経営判断のアシスト機能等を構築しているところであり、来年度からの運用に向けて準備を行っています。

(5) 林業経営体代表者等研修の実施

林業経営に適した森林の再委託先となる林業経営体の代表者等を対象に、人材育成や定着率向上等を目的とした研修を開催しました。



代表者研修の様子

【代表者向け研修】

・ 組織を強くする職場のコミュニケーション研修
・ 人材が定着する職場をつくるチーム

【中堅職員向け研修】

・ 森林経営管理制度対応! 説明力向上研修
・ モチベーションを上げる部下育成研修

三 おわりに

今後も、各種事業や普及活動等を通じて、市町村との連携を図り、森林経営管理制度の更なる推進に努めてまいります。
(林政課 普及指導班)

木を通して環境保全に貢献しています

公園修景施設・土木用資材
防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

普及指導区の情報

「岡山甘栗」の

普及推進について

【勝英普及指導区】

一 はじめに

勝英地域では、新たな地域の特産品として栗の産地化を図ることを目的に、平成22年から岡山甘栗の栽培に取り組んでいます。これまでに必要な創出を図るため、JA勝英を中心に様々な取り組みが行われてきており、現在の取組状況や成果などについて紹介します。

二 「岡山甘栗」と「作州栗」

岡山甘栗は、県の研究機関である岡山県森林研究所が昭和57年に貿易商社を通じて中国から実を手し、その中から優良な品種を選抜したものを、平成20年に品種登録を行い、現在、総称して「岡山甘栗」と呼んでいます。

岡山甘栗の特徴としては、従来の日本グリなどに比べて

- ① 甘味が強い
- ② 渋皮離れが良い
- ③ 栽培がしやすい
- ④ 高齢木でも収穫量が期待できる

等があげられます。

平成26年には、JA勝英において地域の新たなブランド「作州栗」として商標登録されました。



イベントPR活動

三 勝英地域の栽培面積

岡山甘栗の栽培から間もなく10年が経過しますが、当初2ha程であった栽培面積は、現在、約15haになりました。植栽樹は成木となり、優良な園地もでき、産地化に向けた生産体制が整いつつあります。

四 取組状況

JA勝英や森林研究所と勝英普及指導区が連携を図り、これまでに品質向上の対策として、生産者に病害虫の防除や冬期の剪定等の管理、収穫後の果実品質管理などの技術指導を行っています。今年

度は、新たに森林研究所が作成した「岡山甘栗栽培マニュアル」を活用して、岡山甘栗の栽培技術を生産者にわかりやすく普及する取り組みや、栽培歴を使用して、防除・栽培技術の指導を行い、産地化を図っています。

これまでにJA勝英では、生産者に広く呼び掛けして岡山甘栗の買取りを行い、価格の安定化を図る取組を行っていることに加え、このような販路拡大の取組により、作州栗の集荷量は昨年約2トに対し、今年大幅に増加して約5トとなりました。

また、販路拡大ではJA勝英が今年度から関東方面に生栗の出荷を開始し、出荷先の加工業者において焼き栗としてパック詰めされたものが商品化されるなど、今後、需要量の増加が期待されています。



商品化された岡山甘栗(焼栗)

その他、菓子への加工利用する取組もあり、今年度は津山地域の9店舗の和洋菓子店において、期間限定で作州地域産の岡山甘栗を

使った、店ごとのオリジナルロールケーキ「津山ロール」を商品化し、販売されています。



焼き栗の実演販売

五 終わりに

勝英普及指導区では、今後も協議会や森林研究所等と連携して、安定した生産量を確保するため、生産者に継続して、防除・栽培技術を普及指導して、収穫期に適した出荷と品質管理の徹底を図っていくこととしています。

また、消費者や企業等に岡山甘栗を、安全で安心できる国産甘栗としての良さをPRと併せて提供することにより、知名度を上げて商品価値の向上と流通ルートの確保を図り、地域特産品となるよう取組を支援したいと思えます。

(勝英普及指導区 福見 照芳)

ニューフェイスです

びほく森林組合

石原 大地さん (26歳)

【高梁普及指導区】

高梁市にあるびほく森林組合に務める石原さんをご紹介します。

石原さんは平成29年9月から事務職員として勤務され、3年目のニューフェイスです。

現在所属しているびほく森林組合天神支所の事務所で、お話を伺いました。



びほく森林組合 石原 大地さん

一 経歴

石原さんは、吉備中央町出身です。倉敷市内の高校を卒業後、林業とは無縁の会社へ就職されました。しかし、他の森林組合に就職していた高校の同級生から仕事の話を聞いていううちに、「自分も山で働きたい」という思いを募らせるなか、たまたま知り合いの勧めがあり、びほく森林組合へ就職を決められたそうです。

二 仕事の内容

現在は、事務の仕事がされています。事務といっても図面の作成や写真整理だけではなく、現場管理、見積書の作成、フォレストターとの連絡調整、コンパスを用いた森林測量など、多岐にわたっています。パソコンを駆使して効率よく業務をこなされている印象でした。

就職した当時の苦労話を伺うと、「林業の専門用語を覚えることが大変だった。測量しても、その意味や内容が難しく苦労した。」そうです。

休日は、仲間とご自宅の裏山をコースとして整備し、オフロード

バイクに乗って気分をリフレッシュさせているそうです。



事務所でパソコンに向かう石原さん

三 仕事の感想

「どのような時に仕事にやりがいを感じますか」と伺うと、「依頼された現場が事故なく完了し、組合員の方に喜んでもらえることややりがいを感じます」と素敵な笑顔で話されました。

四 抱負

今後の抱負を伺うと、「将来は、諸先輩方のように森林組合の事務全般を理解し、一通りのことができるようになりたいですし、現場の仕事ももっと詳しくなりたい。」とのことでした。

五 上司からの一言

天神支所の高下支所長に伺うと「まじめで、丁寧な仕事をしていると感じます。将来がとてもしみです。」と笑顔で答えられました。



地域森林課開催の研修にも積極的に参加

六 おわりに

お話を伺っていると、将来のビジョンをしっかりと持ちで頼もしい印象を持ちました。上司の方々の関係も良好なようです。

びほく森林組合期待のニューフェイス石原さんの今後の益々の御活躍を期待するとともに、当普及指導区としても、支援していきたいと思えます。

(高梁普及指導区 竹井 裕子)

林業の労働安全対策への取り組み

一 はじめに

多くの方が間伐等のチェーンソーを利用した森林整備に関わる時期を迎えています。そこで、怪我無く作業を進めていただくために、林業労働災害の状況や対策を紹介します。

二 労働災害の発生状況

労働災害発生率の指標として千人率(※)があり、全国における林業の指標は、平成29年度が32.9で、平成30年には22.4と改善されましたが、依然、他の産業に比べ最も高い状況にあります。

本県での発生状況を見てみると、毎年

30件余りが発生しており、休業期間は、4日以上2週間未満が約1割である一方、2週間から1か月が約5割、1か月から3か月が約

岡山県の林業労働災害発生状況 (単位:人)

区分	平成28年	平成29年	平成30年
死傷災害 (休業4日以上)	47	31	34

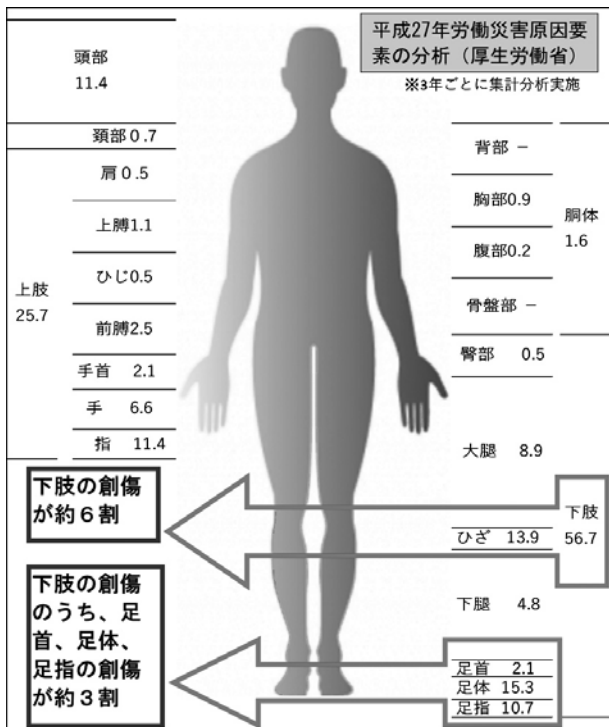
3割を占め、軽傷ではなく、一つ間違えれば、重大な事故につながる可能性があります。

(※ 労働者千人あたり1年間に発生する死傷者数を示すもの)

三 労働災害の原因と部位

労働災害の原因は、約2割がチェーンソーによるもので、怪我の部位を見ると、約6割が下肢の部分の創傷となっています。

そのため、先般、労働安全衛生規則が一部改正され、チェーンソー伐木作業時における下肢の切創防止用防護衣の着用義務付けにより



安全対策が強化されたところです。

四 安全装備等の導入支援

このように労働災害を防止するためには、防護衣などの装備を調えることが重要であることから、県では、安全装備等の導入に係る支援を認定事業者等を対象に行っています。

導入実績をみると、チェーンソー作業防護衣の装備類、蜂アレルギー抗体検査や蜂刺され対策用アドレナリン自己注射器等の器具の導入、最近では、建設現場でよく見かける空調服を、夏期の下

草刈り作業における熱中症対策として導入する事業者が増えています。

予算枠に限りがありますが、本年度の申請を受け付けていますので、安全装備品等の点

検を行っていただき、当該支援を活用して下さい。

(問い合わせ先 公益財団法人岡山県林業振興基金 TEL 086-225-9382)

平成30年度安全装備品等の導入一覧

安全装備品等	事業体	数量
チェーンソー作業用防護衣(チャップスを含む)	12	104
蜂アレルギー検査	9	89
アドレナリン自己注射(エピペン)	10	87
防音ヘルメット	5	56
熱中症予防用具(空調服)	3	47
防振・耐切創手袋	5	23
チェーンソー作業用防護靴	2	10
救急セット	2	6

五 おわりに

労働軽減資材等、新たな商品も開発されており、「安全を買う」取り組みへの情報提供を含め林業の労働災害の低減に向けた防止活動が着実に実践されるよう今後も支援、普及啓発に努めていきます。

(林政課 普及指導班)

「岡山県みどりの大会 2019」の開催

秋のみどりの月間中の10月6日(日)、吉備中央町吉川にある「きびプラザ(吉備高原都市センター区内)」において、「岡山県みどりの大会2019」を吉備中央町、(公社)岡山県緑化推進協会との共催で開催しました。

この大会は「おかやま森づくり県民税」を活用し、みどりの大切さを楽しみながら学ぶことで、森林をはじめとするみどりを守り育てていく心を培ってもらおうと実施しているもので、みどりの少年隊の子どもたちや関係者、一般参加者など約500名が参加しました。

当日はすがすがしい秋晴れとなり、会場周辺では「わっしょい和んさか吉備高原フェスタ」及び「RSKラジオ祭り」が同時開催されるなど、たく



さんの来場者で大いに賑わいました。

みどりの大会第一部では、緑化運動・愛鳥ポスターコンクールの表彰が行われ、第二部では、自然環境課職員によるみどりの少年隊についての講話が行われました。

また、一階ロビーではポスターコンクール入賞作品と森林・林業に関するパネル展示を行いました。

一方、さんさん広場では、オオシマザクラの記念植樹の他、県キャンパ協会及び森林インストラクター会の指導のもと、丸太切り体験、写真ブレードづくりや竹とんぼづくりり体験など様々な自然体験活動が行われ、子どもたちは元気いっぱい楽しんでいました。



この大会を通じて、子どもも大人もみどりや自然に親しみを持ち、将来にわたって大切な緑を守り育てる心を持っていただけることを願っています。

(環境文化部 自然環境課)

林業普及指導員 全国シンポジウムに参加

一 はじめに

林野庁の主催の全国の林業普及指導員が参加する林業普及指導員全国シンポジウムが、11月20日に農林水産省において開催されました。

このシンポジウムは、全国を6ブロックに分け、各ブロックでそれぞれ最優秀賞に選ばれた代表が活動事例を発表し、その成果を今後の普及活動につなげることを目的に毎年開催されています。

二 発表内容

(一) 東北・北海道ブロック代表

北海道「ICTを活用した都市近郊林における森林整備の推進」

(二) 関東・山梨ブロック代表

群馬県「造林地におけるシカ被害対策の取組」

(三) 中部・北陸ブロック代表

愛知県「地域の林業の担い手となる後継者の確保に向けた取組」

(四) 近畿ブロック代表

和歌山県「紀州備長炭「やまづくり塾」の取組」

(五) 中国・四国ブロック代表

鳥取県「オーストリアから学んだ林業労働安全の取組」

(六) 九州ブロック代表

熊本県「阿蘇中央高校と連携した阿蘇神社再建における地域材利用の取組」



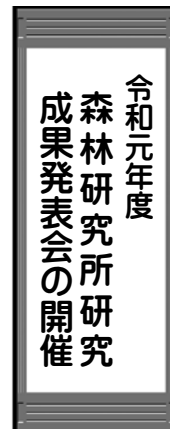
最優秀賞を受賞した鳥取県の発表

三 審査結果

審査の結果、鳥取県(中国・四国ブロック)の取組が最優秀賞を受賞しました。林業先進国であるオーストリアの安全教育、安全対策を学び、地域実情に合わせて改良し、導入している取組です。

①事故発生時慌てないように、予め救助の手順を作成する「とつとり森林緊急通報カード」の運用
②チェンソーの基礎技術を反復して訓練する装置を全国に先駆けて導入
③地域の消防・林業事業者、森林組合と協力体制を構築
その取組の結果、林業労働災害の大幅な減少につながったことが高く評価されました。

(普及推進課 林業普及推進班)



岡山県農林水産総合センター森林研究所では、これまで取り組んできた研究の成果を森林・林業・木材産業関係者をはじめ、多くの県民の皆様方に分かりやすく紹介し、理解と関心を深めてもらうため、次のおり研究成果発表会を開催します。

一 開催日時

令和2年2月7日(金)
13時30分から16時

二 場所

勝田郡勝央町勝間田2000-1
「勝央町公民館 ホール」

三 内容

●研究成果発表

【林業研究室】

① マツタケの省力栽培技術の開発
発表 (藤原 専門研究員)

② 放置竹林の活用に関する研究
(牧本 専門研究員)

【木材加工研究室】

③ ヒノキの香りの変化に関する
評価 (矢田貝 副所長)

④ 木質バイオマス燃料の乾燥状態の向上に関する研究
(北村 技師)

●ポスター発表

森林研究所で取り組んでいる試験研究課題の内容について、パネル等を使ってわかりやすく研究員が解説します。

参加を希望される方は、令和2年1月31日(金)までに、森林研究所まで電話、FAX、メールにてご連絡願います。

なお、申込の際には住所・氏名・電話番号をお知らせください。

【申込先】

〒709-4335

勝田郡勝央町植月中1001

農林水産総合センター森林研究所

電話 0868-38-3151

FAX 0868-38-3152

メール

ringyo@pref.okayama.lg.jp



昨年度の研究発表会の状況

令和元年度研究成果発表会 発表研究課題の要旨

研究課題名	要旨
① 「マツタケの省力栽培技術の開発」 (林業研究室 専門研究員 藤原 直哉)	下草や腐植層の除去などマツタケ発生環境整備作業を省力化するため、フレコンバックを活用したミニアカマツ林を育成するとともに、アカマツ苗木へのマツタケ菌の感染を促すため、より活性の高い種菌をつくり出すことが可能となったので、その方法・技術について報告する。
② 「放置竹林の活用に関する研究」 (林業研究室 専門研究員 牧本 卓史)	放置竹林等の有効活用を図るため、発熱量等の視点から竹材の燃料材としての有用性を検証するとともに、簡易な脱水方法及び効率的な竹材の生産、搬出方法について検討を行ったので、その結果について報告する。
③ 「ヒノキの香りの変化に関する評価」 (木材加工研究室 副所長 矢田貝 茂)	ヒノキ特有の香りを残した製品製造技術を開発するために、人工乾燥などの加工工程において変化するヒノキの香りを客観的に評価する手法の確立を目指している。今年度、においセンサを用いた香りの評価手法について検討を行ったので、その結果について報告する。
④ 「木質バイオマス燃料の乾燥状態の向上に関する研究」 (木材加工研究室 技師 北村 啓)	木質バイオマス発電施設への良質な燃料の供給体制の整備が求められている中、十分に乾燥した発熱量の高い燃料を確保するため、伐木材を林地で予備乾燥するという視点に立ち、葉付き乾燥処理の効果と具体的な方法について検討を行ったので、その結果について報告する。

技能講習会の開催 (2月～4月)

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
小型移動式クレーン運転	岡山	3月18、19日	一般社団法人 岡山労働基準協会 TEL (086) 225-3571
玉掛け	岡山	2月6、7日、3月12、13日	
	笠岡	2月12、13日	
フォークリフト運転	岡山	3月4日	
	笠岡	2月14日	
不整地運搬車	岡山	3月24、25日	
はい作業主任者	岡山	3月13、14日	
伐木 (特別教育)	津山	3月11、12日	一般社団法人 岡山労働基準協会 TEL (086) 225-3571

伐木等の業務 (大径木) 特別教育修了者を対象とした補講

会場：津山圏域雇用労働センター

開 催 日	時間 (講習時間：3時間)
令和2年1月14日 (火)	時間は未定
2月20日 (木)	〃
3月17日 (火)	〃

※受講履歴等の問い合わせ先：岡山県労働基準協会 講習担当 TEL 086-221-2260

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーマット 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕
				

「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎(シンキロウ)マット工法」

太陽と緑の国づくり
Nikon 日本植生株式会社
http://www.nihon-shokusei.co.jp/
津山支店 / 津山市高尾 573-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000



林産物市況



木 材 (12月19日)

単位：千円/㎡

樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り	樹種	長さ	径 級	直 材	小 曲 り
杉	3 m	14~16	11	—	檜	3 m	14~16	19	15
		18~20	11	—			18~20	16.5	15
		22~28	11	—			22上	16	15
	4 m	18~22	10	—		4 m	14~18	19	16
		24~28	10	—			20~22	16.5	14
		16~18	13	—			24~28	16	14
松	3 m	18~22	10	8	6 m	16	25	18	
	4 m	18~22	11	8		18~20	29	25	

・出荷材積 約2,300㎡

(共販所より概況)

杉概況：

3 m、4 m共に並材は模様眺め状態ものの横這いを維持。

不足気味な高齢木の良材は、買い気良好。

【3 m】**【4 m】**

柱 材 保合い 中目材 保合い

中目材 保合い 元 木 保合い

松概況：

品薄だが相場は横這い。

檜概況：

製材所の原木在庫は充分となり品薄感は完全に解消された様子。

それに加え製品の売れ行きの鈍さを反映してさらに買い控えの姿勢となった。

【3 m】**【4 m】**

柱 材 弱保合い 柱 材 保合い

中目材 弱保合い 中目材 弱保合い

元 木 保合い 元 木 保合い

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値。

製 材 (12月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ~ 高 値 (円/㎡)
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	55,000 (直送) ~ 55,000 (市場)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	50,000 (直送) ~ 55,000 (市場)
ヒノキ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	65,000~68,000 (無背割)
	正角 3 m 12cm角	特等	K	60,000~65,000
	正角 4 m 10.5cm角	特等	K	65,000~70,000
	正角 4 m 12cm角	特等	K	63,000~65,000
マ ツ	平角 4 m 10.5~12cm×15~18cm	一等	K	75,000
米マツ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	60,000~65,000 (バラ出し)
	平角 3 m、4 m 10.5×15~21cm	特等	G	62,000~63,000 (バラ出し)
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	70,000~73,000
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特等	K	55,000~57,000

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。

注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！

FOREST
INSURANCE



森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
加入期間は？ 1年単位で何年でも！
保険金ができるのは？

火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。

岡山県では過去5年間で約2千万円の保険料が支払われました。

ご契約のモデルケース (1haあたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年
保険期間…5年 保険金額…最大188万円
一括払いだと27,444円 (5年間計)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年
保険期間…5年 保険金額…最大299万円
一括払いだと43,325円 (5年間計)

1ヶ月あたり
約460円

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約720円

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。

○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造 森産業株式会社
総発売元

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)

おかやまの木で家づくり支援事業

- ✓助成金額：最大24万円/戸
- ✓助成対象者：県内において住宅を新築または改修される施工業者（大工、工務店等）



詳細は
コチラ

<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

一般社団法人岡山県木材組合連合会

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8(岡山県木材会館内)

TEL(086)231-6677 FAX(086)232-7549

—— 安全・人と自然・調和 ——

造林木を野生動物の食害から守る

- 〔野生獣類忌避剤〕 コニファー水和剤
- 〔幼令樹保護カバー〕 くわんたい
- 〔樹皮食い防止に〕 バークガード
- 〔野生草食獣食害防止〕 防獣ネット
- 〔クズ専用除草剤〕 ザイトロン・ザイトロンフレノック・ケイピンエース
- 〔樹幹注入剤〕 マッケンジー注入剤

(お問い合わせ申し込みは県森連・森林組合へ)

販売元：日植アグリ株式会社
TEL：086-292-5525

大同商事(株)大阪営業所
TEL：06-6231-2819

ほっけー木になる情報

A. 平成30年7月の豪雨や令和元年9月の新見市での局地的な豪雨など、近年、猛烈な豪雨による植栽地の被害が心配されます。

そうした中、森林所有者が自ら災害に備える唯一のセーフティネットとして、森林保険があります。

森林保険は、加入することにより、水害、雪害、風害などの損害に対して、保険金が支払われるものです。

万が一、災害に遭った場合でも、保険金を活用し、被災箇所に再度植栽することが可能です。

支払う保険料は、一括支払いや花粉症対策苗木（少花粉ヒノキなど）の植栽などにより、安くなります。保険料の計算は、森林保険センターのホームページから行うことができますので、御利用ください。

<http://www.ffpri.affrc.go.jp/ffc/>
お申込等は、お近くの森林組合や岡山県森林組合連合会にご相談ください。

(治山課 造林班)

・保険金の支払の対象となる災害



火災
山火事で受けた損害



水害
豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



干害
乾燥による枯死などの損害



潮害
潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



風害
暴風による幹折れ、根返りなどの損害



雪害
豪雪・積雪による幹折れ、根返りなどの損害



凍害
凍結、寒風などによる枯死などの損害



噴火災
火山噴火による焼傷、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

ぜひ森林保険にご加入ください！



森林保険イメージキャラクター
マモルくん

事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています

事務局では、会員の方から森林・林業に関する質問や疑問、イベント情報等、身近な話題の投稿をお持ちしております。

また、新規会員も継続して募集しております。

【問い合わせ・送付先】

〒700-08570

岡山市北区内山下2-4-6

岡山県庁林政課内

電話 086-226-7451

または

〒717-0013

真庭市勝山1884-2

森林研究所 木材加工研究室内

電話 0867-44-3367

株式会社 **山都屋**

緑あふれる環境づくり

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助
治山・林道の調査、測量、設計、積算
森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711
津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

林声

森林・林業施設の紹介

「高梁市立成羽こども園」

高梁市が平成29年度から、旧成羽高校跡地に建設していた成羽こども園（2階は養護老人ホーム 成羽長寿園）が平成30年10月に完成し、平成31年4月1日に開園しました。0歳児から小学校就学前の5歳児までの園児118名が通っています。

当施設は非木造ではあるものの、内装材に県産材をはじめとする木材をふんだんに使い、開放的な設計と大きな窓によって明るい室内となっています。



成羽こども園 外観

成羽こども園、田中園長にお話を伺ったところ、「木の内装は見た目が温かいだけでなく、実際に暖かい。従前のコンクリート造の施

令和二年一月一日（第四六九号）
（隔月一日発行）

設よりも室内が静かで落ち着いて過ごせると、園児はもとより、保護者にも好評です。」とのことでした。成羽こども園では2階の成羽長寿園の入居者とも定期的な交流を行っており、幼児を見て笑顔になる、褒められて喜びを得るといった世代間交流による相乗効果が期待されています。

（高梁普及指導区）



絵本の部屋



保育室

編集 発行
〒700-8570 岡山県林政課内 岡山県林業改良普及協会
岡山市北区内山下二一四一六



「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金でふせごう地球温暖化

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行	01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店	1852041
トマト銀行岡山駅前支店	1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



CT-500C

・GP-532
小型ハイパワープロセッサ
IWA FUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255

<http://www.mitsuyoshi.com/>



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。